

おだわらを拓く力
ニュースレター
Powers!

「つながり」が「力」に。

様々な出会いから、たくさんの事業が動き出しています!



いいの森バツガロ=前にて

舞台は小田原。ドラマをつくるのは人です。



2014年11月8・9日の全国制らう会小田原大会

森で【蘇る!小田原の森林・林業・木材産業】

市域面積の4割を占めながら地域経済への貢献が少なかった「木材」の活用に向け、森の再生や、木材需要の拡大を推進。森林管理、製材、設計、建築、木材加工などの各分野の担い手がガッチリと繋がり、小田原材を使った住まいづくりの研究、木のある暮らしの提案、子どもに木の大切さを伝える「木育」、住宅のリフォーム・新築への助成などが進む。



2015年5月10日の小田原あじ地魚まつり

海で【新鮮!小田原の魚のブランド化】

全国屈指の好漁場・相模湾から水揚げされる地魚の豊富な魚種と鮮度、大消費地への交通網など、さまざまな利点を持つ小田原。漁業組合、魚市場、鮮魚商、加工業者らが一堂に会し、「小田原の魚」の大幅な需要拡大とブランド化の研究に着手。「小田原城前魚」の商標化、「地魚愛用店」の登録拡大、新メニュー「カマス棒」の開発、あじ地魚まつりなど、多彩な動きへ発展中。



2014年10月23日のメガソーラー竣工式

太陽で【未来!再生可能エネルギーの地域自給】

福島原発事故を受け、小田原では再生可能エネルギーの地域自給に向けて、直ちに検討を開始。熱い思いを持つ市内事業者や多くの市民が連携、民間の事業会社が立ち上がりと共に、公共施設屋根貸しやメガソーラーでの発電が開始。市でも推進条例やエネルギー計画を策定。これら一連の動きは「小田原モデル」として高い評価を得ている。

パワーズおすすめ

びあ食本シリーズ『小田原食本』は、地元の人向けのグルメ情報誌。小田原市内を中心に、大井・松田エリアもあわせ全160軒のおいしいお店を紹介している。全国書店で販売中のため、もしかしたら地元の「あなた」が知らないお店を、全国の人が知っているかも!
『小田原ブック』(小田原市発行)は、単なる観光ガイドではなく、小田原の自然や人の暮らし、営みを盛り込んだ1冊。こちらは、小田原地下街のハルネ案内所などで無料配布中。



加藤市長からのメッセージ

ここ数年、小田原では様々な「新しい動き」が立ち上がり、地域課題の解決や、地域力の底上げが進んでいます。例えば、地域コミュニティ単位のまちづくり、ケアタウン(支え合いのまち)づくり、森林・林業・木材産業の再生、小田原の魚のブランド化、再生可能エネルギーの地域自給、市民による芸術文化の創造、新しい切り口での商店街活性化、等々。

これらに共通する「成功要因」は何でしょうか?それは、今まで別々に動いていた人や活動が、つながり合い、思いを共有し、一緒に動く関係が育ってきたことだと、私は感じています。

小田原に潜在している「可能性」と、それを実現する手立ては、丹念に地域の現場を歩き、課題に向き合っている多くの市民の皆さんと共に考え、共に動く中で、はじめて見えてくるものです。ひとたび、そうした人たちがつながり、思いと行動が共鳴し始めると、当初は予想もしなかった動きへと展開し、確かな成果に結びつく...そんな手応えを感じているのは、私だけではないと思います。

市長として、つながりの最初のキッカケを作ったり、それを支える行政の態勢を整えつつ、職員を励ましながら、様々な動きをサポートしていますが、それぞれの活動を担う市民の皆さんの情熱と行動、小田原への思いがあつてこそ、動きは結実されていくのだと、確信を持って言えます。これからもしっかりと手をたずさえ、「新しい小田原」への歩みを確かなものとしていきましょう。

2015年秋 加藤けんいち

2015.10発行 第36号
発行責任者:二宮秀夫

おだわらを拓く力

(加藤けんいち後援会) TEL 0465-21-5260 FAX 0465-21-5261
小田原市栄町2-13-1 そびそ二宮ビル2F オープン時間:月・水・金(祝日のぞく)10時~17時

拓く力 検索